

## インドネシア水道に係る情報収集 No. 211101-1J

検索サイト	Google	実施日	2021/11/01	実施者	TADOKORO
検索方法： インドネシア AND 水道で検索（インドネシアの水道と表示される）					
URL： <a href="https://www.jiji.com/jc/article?k=2021103100262&amp;g=int">https://www.jiji.com/jc/article?k=2021103100262&amp;g=int</a>					
標題：海面上昇におびえる街 「毎日浸水」「かさ上げ3回」—被害が年々悪化・インドネシア 時事ドットコムニュース 国際 2021年11月1日					
<p><b>【要旨】</b></p> <p>気候変動の脅威にさらされている都市が、インドネシア中ジャワ州にある。地球温暖化による海面上昇の影響で、住宅地の浸水被害が年々悪化。地盤沈下も被害の拡大に拍車を掛け、住民は床上浸水に日々悩まされたり、床のかさ上げを強いられたりしている。</p> <p>ジャワ海に面した中ジャワ州ペカロンガン市パンジャンバル地区。（10月*）14日未明の満潮時刻、堤防を乗り越えた海水が勢いよく路地を駆け抜け、一帯を覆った。</p> <p>海水は、堤防から約20メートル離れたウィディオノさん（42）の自宅に入り込み、床上約10センチまで上昇した。「以前は週1回だったが、8月ごろから毎日入ってくるようになった」。（* 情報収集時に付加）</p> <p>町内会長のダニさん（36）は「住み始めた11年前は、堤防の向こうに幅10メートルぐらい砂浜があったのに、海面が上昇して消えた」と話す。堤防はこの間2回かさ上げされたが浸水を防ぎ切れず、300世帯が大小の被害を受けているという。</p> <p>ダニさんも過去3回、自宅が50～80センチの床上浸水に遭遇。これまでに床を3回、計2メートル底上げした。「天井の低い家になった」ため、3回目は屋根も一緒に高くした。本当は移転したいが、資金がない。</p> <p>慢性化した浸水被害について、アフマッド市長は「地球温暖化に伴う海面上昇と、地下水利用による地盤沈下がもたらした」と説明。対策として、堤防のかさ上げや排水ポンプの整備、マングローブの植林を浸水地域で推進。<u>ホテルや工場の地下水利用を2017年から罰則付きで制限し、水道会社の供給能力拡大に努めている**。</u>（* 下線は、情報収集時に付加）</p> <p>だが、バンドン工科大学測地学研究所のヘリ所長は「30年までにペカロンガン市の8割に当たる約4000ヘクタールが海面より下に沈む」と予測する。同大の調査によれば、沿岸の海面上昇が年0.6センチに及ぶ上、地盤沈下が同10センチに達する地点があり、「最も深刻な都市」になっているという。</p> <p>市は住民移転も検討し、今年5月から国と協議を重ねているが、方向性は定まっていない。国は新型コロナウイルス対策で財政赤字を拡大させた上、津波や洪水を含めた浸水危険地域を各地に抱えている。</p>					
備考					